

島根県

防災安全講演会 （災害ボランティアセミナー） 開催報告

平成30年1月20日（土）、島根県石見地域地場産業振興センターにて島根県と当協会主催による「防災安全講演会（災害ボランティアセミナー）」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して大西島根県防災危機管理課長と当協会の棚橋常務理事が挨拶し、続いて兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授室崎益輝氏による講演と東北福祉大学・大学院教授小松洋吉氏による講演が行われました。



講演1 13:45～14:45

災害激甚化の時代における
高齢者のボランティア活動

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授 神戸大学名誉教授 室崎益輝氏

ゲリラ豪雨にも見られるように災害が激甚化している中で、一般行政職員の数が削減され、コミュニティの力も弱くなり、公助や共助には頼れなくなっています。そういう状況の中で元気で自由な時間を持つ高齢者をうまく活用し、かつ若者もそれに参



室崎 益輝 氏

1967年京都大学工学部建築学科卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学災害復興制度研究所長を経て、2017年より現職。日本火災学会賞・防災功労者内閣総理大臣表彰・兵庫県社会賞などを受賞。

講演2 14:55～15:55

減災を切り口とした
やさしい地域づくり
生涯にわたって災害と向き合う

東北福祉大学・大学院教授 小松 洋吉氏
よく言われる「自助」「共助」「公助」に加えて「広助」「近助」「外助」の概念、重要性を具体的に解説して頂きました。また、「できることをできるだけ」というボランティア活動の基本的な活動方針についても、寓話も交えてわかりやすく説明頂きました。



小松 洋吉 氏

秋田県出身。東京大学文部教官（助手）を経て、現在は東北福祉大学・大学院教授、東北学院大学非常勤講師を務める。社会貢献学会の一員として、宮城県旧雄勝町でのボランティアニーズ調査も行っている。2009年度に「ボランティア功労者厚生労働大臣賞」、2016年度に「仙台市政功労者表彰」を受賞している。

災害ボランティアにおける高齢者の役割やコミュニティの重要性を改めて認識させられ、大変参考となるシンポジウムとなりました。